

「日本食普及の親善大使」の任命（浜田勤士さん）



クライストチャーチ市で2007年に日本料理店を開き、以来、日本食の普及に努めてきた浜田勤士さんが、農林水産省から2021年度の「日本食普及の親善大使」の一人に任命され、2月23日、伊藤大使から浜田さんに「親善大使任命状」を授与しました。

浜田さんが2007年に始めたKinji Japanese Restaurantは、地元ニュージーランドの食材もたくみに取り入れた日本料理で地元の人々から長く愛されてきました。また、浜田さんは、自身が料理店を営むだけでなく、ニュージーランドの料理界の皆さんの関心を受けて日本料理の食材や調理法の普及にも努めてこられました。こうした点が評価され、今年度は世界各地で働く日本人料理人の中から31名の方が任命された「日本食普及の親善大使」の一人に選ばれたものです。2014年度から始まったこの親善大使には、これまでに世界各地から173名が任命されていますが、今年度はニュージーランドからは初めて3名が任命されました。

親善大使の任命状を手渡した伊藤大使は「これからも食を通じた日本文化の普及に努めてください」と伝え、これに対し浜田さんは「クライストチャーチの大地震や新型コロナウイルスを乗り越えて日本料理店を続けていくことができたのは、これまでこの国で苦勞しながら日本料理の普及に努めてきた先輩方を始め、多くの皆様方に支えられてきたおかげです。今回の任命を受けて、今後も工夫しながらさらに多くのニュージーランドの方々に日本の食文化を知ってもらおうよう取り組んでいきます。」と抱負を述べられました。

浜田さん、このたびの「日本食普及の親善大使」への任命、おめでとうございます。食がきっかけとなってニュージーランドの人々がいっそう日本文化に親しむようになるよう、これからもよろしく願いいたします。

(参考)

2021年度、ニュージーランドからは、Cocoro Restaurantのオーナーシェフである徳山真人さん、大黒レストラングループ・ニュージーランド代表の成田吉司さん、そして浜田さんの3名が、「日本食普及の親善大使」に任命されました。

詳しくは農林水産省のプレスリリースをご覧ください。

https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/kikaku/220119.html